コロナが、５類に引き下げられたために、バスケットの環境も大分緩和されました。

【令和５年重大ニュース】

１月３日　ぜんざい会

コロナ禍のため、参加は昨年に続いてプレーするメンバーに限られました。ＯＢ９名、ＯＧ１名だけの参加でしたが、全員で紅白戦をして楽しみました。男子に 35,000 円、女子に 10,000 円のお年玉をプレゼントしました。

３月１日　卒業式

高７５回となる男子９名、女子１５名が卒業して新しい世界へ出発。筑籠会から卒業記念品を贈呈しました。

４月２２～２３日　全国大会

なんと、７０歳以上の全国大会が茨城で開催されました。九州だけではメンバーが不足したため、山梨との合同チームで参加し、戦績は２戦２勝でした。筑籠会からの参加は、高２３回織戸です。

４月～５月　インターハイ予選

３年ぶりに、現役のゲーム観戦ができるようになりました。

男子は、４回戦で宗像に敗れましたが、２部残留です。順位決定戦で福岡魁聖に敗れ、惜しくも県大会出場はなりませんでした。

女子は、初戦で九産大九産に敗れました。

６月　ウィンターカップ予選

男子は、パート決勝で福岡西陵に敗れました。

女子は、初戦で新宮に敗れました。

８月　１年生大会

男子は、香椎工業、福岡中央を連破しましたが、福大大濠に大敗しました。

女子は、初戦で修猷館に敗れました。

９月２～３日　全国大会

シニアバスケットの高齢化は止まりません。茨城に続いて、岡山でも７０歳以上の全国大会が開催されました。オール九州でチームを編成し、見事優勝しました。筑籠会からの参加は、高２３回徳永です。

１１月３日　全国大会

Over５０全国大会が秋田で開催されました。福岡スーパーシニアは、初戦で地元秋田に敗れました。筑籠会からの参加は、高４３回鶴岡です。

１１月４日　壮年大会

中部地区８高校の３５歳以上の卒業生が競う「壮年大会」が、西南学院で開催されました。筑紫丘は残念ながらメンバーがそろわず、東福岡に応援を頼みました。

高１８回の諏訪さんが、参加者の中で最高齢プレーヤーということで、読売新聞のインタビューを受けました。

１１月１９日　役員会

「炙り炉端　山尾天神店」で開催しました。

１２月９日　総会、忘年会

「個室居酒屋　くいもの屋　わん」で開催しました。参加人数が少なく、残念でした。

１２月～　新人戦予選

男子は、香住丘、香椎工業を連破し、翌年の４回戦に駒を進めました。

女子は、初戦で香住ケ丘に敗れました。

＊会員の訃報が相次ぎました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

【物故者名】

高１３回松下昭通　高１４回稲留穂　高２０回岩崎敬一

高２１回中倉健二郎　高２９回高木寛治